

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-146898

(43) 公開日 平成8年(1996)6月7日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 9 F 17/00

識別記号

P

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 7 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-329751

(22) 出願日 平成6年(1994)11月22日

(71) 出願人 595002801

西本 久幸

福岡市西区小戸3丁目16番21号

(72) 発明者 西本 久幸

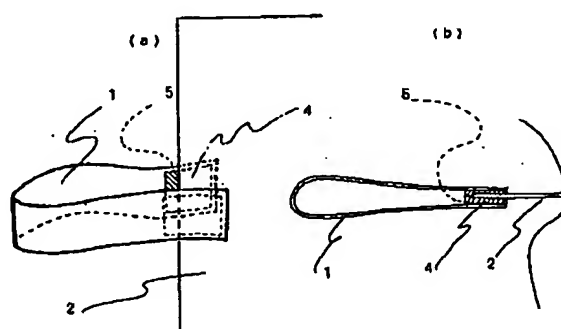
福岡市西区小戸3丁目16番21号

(54) 【発明の名称】 のぼりのチチおよびその取付け方法

(57) 【要約】

【目的】 縫製を要せず、容易に取付け可能なチチの剥離を防止すると共に、風により巻き上がらない。

【構成】 チチ1の内面端部に両面接着テープ4を取付け、のぼり本体2を挟持する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 のぼりのチチに於いて相対するチチ輪の内側端部に、両面接着テープ、もしくは熱接着フィルムを介在させ、もつてのぼり、紅白あるいは、のれんの周辺にチチを圧着もしくは、熱溶着せしめて取付けることを特徴とするチチ。

【請求項2】 のぼりのチチの相対するチチ輪内側端部に、両面接着テープもしくは、熱接着フィルムを介在させるに於いて、当該両面接着テープ、もしくは熱接着フィルムが、のぼり周辺部を挟み相互に重ね合せて接合される際、少なくともその両端部に於いて、直接両面接着テープ、もしくは、熱接着フィルム同士が、のぼり周辺部よりはみ出して重ね合わさり接合されることを特徴とするチチの取り付け方法。

【請求項3】 のぼりのチチに於いて、相対するチチの内側端部に位置する、2つ折りに曲げられた両面接着テープの折曲部が、チチ曲折部に呼応して、くの字形状に折曲げられて貼りつけられたことを特徴とする両面接着テープを有するのぼりのチチ。

【請求項4】 両面接着テープもしくは熱接着フィルムをその内側端部に有するチチを、のぼり、紅白、もしくはのれん等に貼り付けて用いるにあたり、当該チチの位置するのぼり等の周辺部に、方形もしくは、円形のくり抜きを設け、かかるくり抜き部に於いて、両面接着テープもしくは、熱接着フィルムが互いに直接接合されることを特徴とするチチの取付け方法。

【請求項5】 のぼりのチチの内側端部に、両面接着テープもしくは熱接着フィルムを設けるにあたり、当該両面接着テープあるいは、熱接着フィルムの端部形状とチチ端部形状を同一の波形あるいは、半円状として、一致せしめたことを特徴とする、のぼりのチチ。

【請求項6】 のぼりのチチの内側端部に両面接着テープもしくは、熱接着フィルムを設け、更にそのチチ外端部に切れ込みを設けたことを特徴とする、のぼりのチチ。

【請求項7】 半パイプ状の合成樹脂よりなる旗さお保持部、およびその横軸方向へ当該半パイプの外縁部から延長して設けられた一対のチチ状羽根部より構成され、当該半パイプの内周面に凹凸溝を成型せしめ、さらに当該チチ状羽根部端部に、相対する差込み突起とその受け部を有した、のぼりのチチ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、宣伝、広告、儀礼、あるいは装飾として用いられるのぼり、紅白、のれんに関わるものである。さらに詳しくは、のぼり、紅白、のれんなどのチチ部およびその取付け方に関わるものである。

【0002】

【従来の技術】従来ののぼりは、一般に方形よりなるの

ぼり部本体と、その外周辺に旗さお固定用に設けられるチチ部より構成されるが、このチチ部は、縫製により逐一のぼり本体に縫いつけるしかなかったのである。また、その製造にあつては、染め作業後、一枚づつ手作業により、そののぼりの寸法、形状に合せて熟練した縫い子の手によりチチ部をとり付けるものであり、実用にあつては、これを旗さおに通し用いるために、実用現場でその都度のぼり、または、のれんの形状に合せた旗さおを用意して合せるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来、業界では現在に至るも、のぼり等のチチを縫製により縫いつける作業を必要とするため、かかる作業は人手を要し、又、逐一縫糸を切断処理するなど、大変な作業となっていた。又、同時にこれは時間のかかる作業でもあり、大量に製造する、あるいは、短時間に作らなければならないとなると、不可能に近いものがあつた。のぼり、紅白にあつては、本体の染め作業、寸法により、チチ部の位置、枚数が異なるために、旗さおにあつては、逐一これを合わせて用いる手間を要し、又、適切な寸法に設置しないと、強風に煽られてまくり上がる等の不備があつた。

【0004】かかる、のぼり、紅白、のれん等にあつては、その性格上、のぼり本体側の色柄、染めが主体となるため、永年、これに付帯するチチ部は旧態然の、製造現場に於ける、糸による縫製作業で処理されて来たので有る。

【0005】

【課題を解決する為の手段】本発明では、かかる問題を解決する為に、まず、チチそのものの取り付けを改め、逐一これを縫製せずに、接着により貼り付け、為に縫製の手間を省き、更には現場に於いて、状況に応じた形で設営可能なものにせんとするもので有る。

【0006】第1の発明では、かかるチチを構成するにあたり、チチの内側端部に両面接着テープもしくは熱接着フィルムを介在させ、もつてこのチチ両内側面により、のぼり、紅白、のれんの所要外周辺を挟持し、チチを取り付けるので有る。

【0007】又、第2の発明では、かかるチチをのぼり等の周辺部に設けるに際し、チチ内側端部に設けた、両面接着テープもしくは熱接着フィルムが、のぼり等の外周辺部を挟持するに、この接着両面がのぼり周辺部をはみ出して、互いに重ね合わさり、接合されるので有る。

【0008】第3の発明では、かかる両面接着テープが、チチの両端部にそれぞれ分断して設けられる事なく、2つ折りに曲げられた折曲部を、チチ曲折部に呼応するごとく、くの字形状に折曲げた状態でチチ内側両端に設けられるので有る。

【0009】又、第4の発明では、両面接着テープもしくは、熱接着フィルムをその内側端部に有するチチを、のぼり、紅白、もしくはのれんに貼り付けて用いるにあ

たり、あらかじめ当該チチの位置するのぼり等の周辺部に、方形、もしくは、円形のくり抜きを設け、かかるくり抜き部に於いて、両面接着テープもしくは、熱接着フィルムが互いに直接接合されるので有る。

【0010】第5の発明にあっては、のぼり等のチチの内側端部に、両面接着テープもしくは、熱接着フィルムを設けるにあたり、当該両面接着テープあるいは、熱接着フィルムの端部形状と、本チチ端部の形状を同一の波形あるいは、半円形として、一致せしめるので有る。

【0011】又、第6の発明にあっては、のぼり等のチチの内側端部に両面接着テープもしくは熱接着フィルムを設け、更に、当該接着面の外側、チチ外端部に切れ込みを設けるので有る。

【0012】第7の発明にあっては、半パイプ状の合成樹脂からなる旗さお保持部、および、その横軸方向に設けた、当該パイプの外縁部より延長してなる一対のチチ状羽根部からなり、当該パイプ状の旗さお保持部内周面に凹凸溝を成型し、更には、当該チチ状羽根部の端部に、相対する差込み突起とその受け部を設けるので有る。

【0013】

【作用】本発明では、チチの端部にかかる両面接着テープあるいは、熱接着フィルムを設けたので、何等の縫製作業を要することなく、しかもその接合力において、十分実用にたる強度を有し得るので有る。

【0014】本発明によるチチを用いると、製造現場においては、いとも容易にその取付けが出来るのみならず、設営現場にあっても、いかなる旗さおにも適合させ得るので有る。

【0015】更には、上述のごとくチチの取付け位置を設営現場で自在と出来るのみならず、チチ本体とのぼり本体との間で両面接着テープあるいは、熱接着フィルムが直接互いに接合され得るので、十分な接合強度を提供出来るので有る。

【0016】加えて、本発明のチチでは接着面に対し、チチ端の形状を波形あるいは、半円状となしたので、チチ端部へ働く剥離に作用する力を分散するため、のぼり本体からチチ端部が剥離されるのを防止出来るのである。

【0017】同時に、チチ端部に於いて接着面と同端部との間に切れ目を入れたので、チチを剥離しようとする不意の力を接着面に伝えないので有る。

【0018】又、半パイプ状の旗さお保持部内周面に設けた凹凸溝の山部、谷部の為に、本発明によるチチを実施すると、旗さおに対していかなる強風でものぼりの捲れ上がりを回避し、常に視認性を維持出来るので有る。

【0019】

【実施例】以下、この発明を添付図面にもとづき説明する。図2は本発明の請求項1の実施例を示し、図中4はチチ1の端部に設けられた両面接着テープあるいは、熱

接着フィルムである。かかる構造のチチは、のぼりの任意の位置に容易に取付ける事が出来、何等の縫製加工を必要としないのである。実用にあつては、図2の状態で、のぼりの端を挾持し、圧着もしくは、加熱により溶着せしめるのである。

【0020】図3は、本発明の請求項2の一実施例を示し、図中5は両面接着テープあるいは熱接着フィルムを示す4の一部であり、のぼり本体2よりはみ出した部分である。当該5は、チチ1の相対する内面に位置し、互いに接着面同士が直接接合するのである。このため、チチとして実施されると、より強力にのぼり本体2を固持するのである。

【0021】図4は、本発明の請求項3の一実施例である。図中6は、チチ1の曲折部に呼応してくの字形に曲折げられた両面接着テープを示す。本発明は、かかる構造を有するのでチチ1とのぼり本体2との接合強度を増すことができると同時に、より容易に両面接着テープ6をチチ1に取付けることができるのである。

【0022】図5は、本発明の請求項4の一実施例である。図中7は、のぼり本体2の外周面に設けられた円形のくり抜きを示す。チチ1の内側端部に設けられた両面接着テープは、チチ1の両端が重ね合わされることにより、直接、接着面同士が接合されるのである。かくして、のぼり本体とチチは、より強力に固定されるのである。

【0023】図6は、本発明の請求項5の一実施例である。図中8は、両面接着テープ4と同一の形状となしたチチ1の両端部であり、(a)は波形、(b)は半円形の状態を示す。本実施例はいずれも、チチ1の端部からの剥離に対応して、チチ1の端部に作用する剥離方向の力を、それぞれ分散し、剥離の進行を阻止するのである。

【0024】図7は、本発明の請求項6の一実施例を示す。図中9は、両面接着テープ4とチチ1の端部との間に設けられた切れ込みを示す。チチ端部からの捲れに対し、本切れ込み9は、その捲れに作用する力を接着面に伝えることなく、接着面本体の捲れを防止するのである。チチ1の端部は、捲れがその端部から発生すると、切れ込み9の位置でその捲れを接着面の角部のみに伝え、剥離の方向を転ずるのである。

【0025】図8は、本発明の請求項7の実施例を示す。図中10は半パイプ状の旗さお保持部、11は、チチ状羽根部を示す。12および13は、チチ状羽根部11の端に設けられた、のぼり固定用の差込み突起とその受け部を表わす。半パイプ状の旗さお保持部の内面には凹凸溝14がそれぞれ独立した円周として設けられている。本発明の実施にあたっては、保持部10を旗さおに所要数個差込み、しかる後、のぼり本体の周辺部をチチ状羽根部11の間に挟み込み、差込み突起12と受け部13の結合を、のぼりをその間に介在させたまま行なう

5

6

のである。旗さお保持部10の内面に設けた凹凸溝14は、強風による、のぼりの巻き上がりを阻止し、常に、視認性をそこなうことなく、しかも、現場で容易にのぼりの設営が可能となるのである。

【0026】

【発明の効果】本発明は上述のごとき構造としたので、容易にチチの取付けが可能となり、より視認性がたかく、風による巻き上がりをふせぐのぼりを提供できるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】のぼりの概略図である。

【図2】請求項1のチチの実施例である。

【図3】(a)は、請求項2の実施例斜面説明図、(b)は、その上方断面図である。

【図4】請求項3の実施例を示す斜面説明図である。

【図5】請求項4の実施例を示す斜面説明図である。

【図6】(a)及び(b)は、請求項5の実施例を示す斜面説明図である。

【図7】(a)及び(b)は、請求項6の実施例を示す

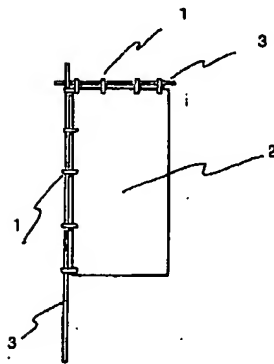
斜面説明図である。

【図8】(a)及び(b)は、請求項7の構造を示す斜面図及び一部断面図である。

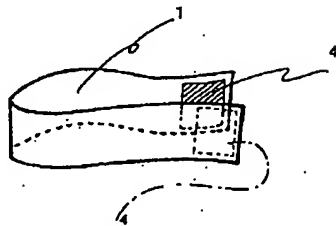
【符号の説明】

- | | |
|----|---------------|
| 1 | チチ |
| 2 | のぼり本体 |
| 3 | 旗さお |
| 4 | 両面接着テープ |
| 5 | 両面接着テープのはみ出し部 |
| 10 | 請求項3の両面接着テープ |
| 7 | 円形のくり抜き |
| 8 | 請求項5のチチの端部 |
| 9 | 切り込み |
| 10 | 旗さお保持部 |
| 11 | チチ状羽根部 |
| 12 | 差込み突起 |
| 13 | 受け部 |
| 14 | 凹凸溝 |

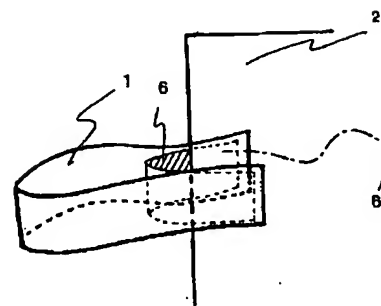
【図1】



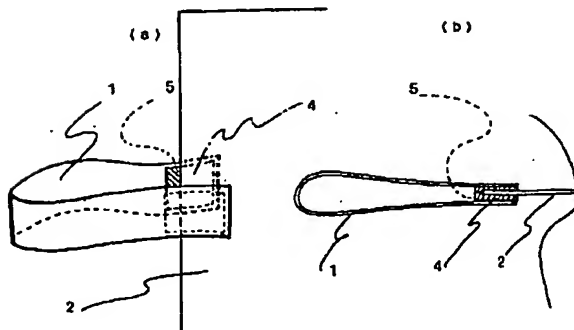
【図2】



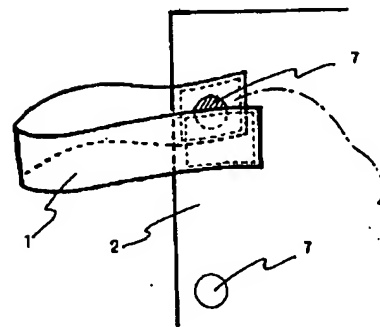
【図4】



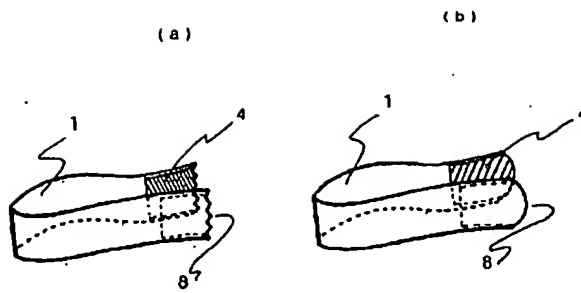
【図3】



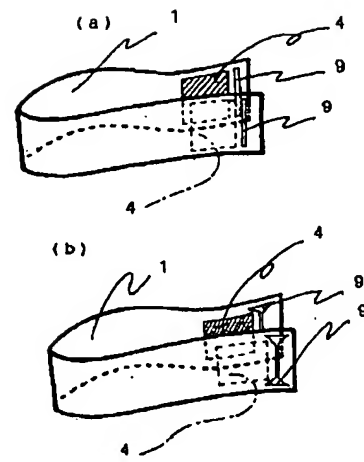
【図5】



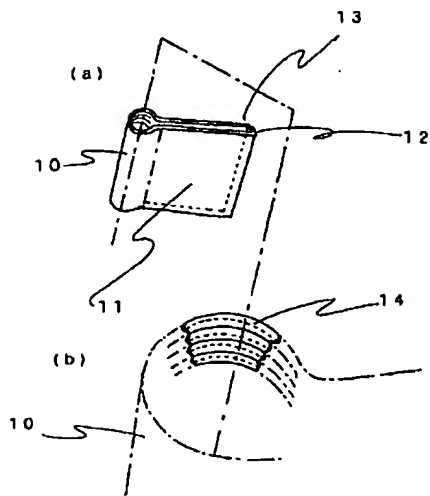
【図6】



【図7】



【図8】



PAT-NO: JP408146898A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08146898 A

TITLE: STRAP OF BANNER AND ITS MOUNTING METHOD

PUBN-DATE: June 7, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NISHIMOTO, HISAYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NISHIMOTO HISAYUKI

N/A

APPL-NO: JP06329751

APPL-DATE: November 22, 1994

INT-CL (IPC): G09F017/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate the need for sewing, to facilitate mounting of a strap, to enhance visibility and to prevent soaring up by wind by interposing double-coated adhesive tapes, etc., in the inner ends of the strap and holding the required outer periphery of a banner, etc., by both inner side faces of the strap.

CONSTITUTION: The ends of the strap 1 are provided with the double coated adhesive tapes or thermoadhesive films 4. The strap having such structure is easily mountable at the arbitrary position of the banner and the strap which does not require any sewing at all is obtd. The end of the banner is held by the strip and is fused by compression bonding or heating. The ends of the strap 1 are provided with the double coated adhesive tapes or thermoadhesive film 4 in such a manner, by which the need for sewing is eliminated and the strength enough to practicable use in terms of its joining force is obtd. Further, the easy mounting of the strap 1 is possible on production site by using such strap. In addition, the adaptation to any kind of flag poles is possible on installation site.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

